



かわにし 広報

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社

人口の動き	
—1月1日現在—	
男	5,903 (-24)
女	6,080 (-19)
計	11,983 (-43)
世帯数	2,599 (+1)
()内は前月との比較	



つい、せんたって、上野に信号機ができたというので写真をとりに出かけた時は、路面にひとかけらの雪もなく、小型の商用車一台が信号待ちをしていたというのに、わずか十日しかたっていない

月六日、場所こそ進んでも、千手を中心に、もうこの風景。まるで、家屋やバスをはさみこんだ雪のサンドイッチのようだ。そのバスも、七日以後には町中で姿を見かけなくなった。

行事

- 一月
 - 十三日 議員定数調査特別委員会
 - 十七日 川西婦人学級(7)の卒業式(会場は橘出張所)
 - 二十四日、二十五日と二厚委員会
 - 二十七日 産経委員会
 - 二十九日 総文委員会
 - 三十日(大寒)千仙田にこにこ会
 - 三十一日、二十二日の両日にわたる予定)
- り町議会臨時会をひらき、一般会計補正予算や職員の給与条例改正などの案件を審議する。
- 二十三日 檜地区婦人会役員研修会(会場は橘出張所)。
- (この三つの議会常任委員会は諸願審査を中心にひらきます。)

町政コーナー

八十年来の積弊といわれた十二月の陽気が、年末から一転して空前の大雪となった。早くから三十八年製の豪雪になるといふ長期予報は出ていたが、十二月の小春びよりの下では、この予報がまともに当たるとは、とても信じられなかった。それだけに、わずか一週間足らずの間にニメ・トル余りの積雪という異常事態によるショックと混乱は大きかった。

町では、さっそく雪害対策本部を設けて、雪害対策に万全を期することとなった。

さて、雪上車がいよいよ真価を問われることになったわけであるが、果たしてじゅうぶんその威力を発揮しているであろうか。実は、未経験の雪上車について管理体制の整備が必ずしも万全とはいえなかったところへ下力雪に慮をつかれた形で、多少の混乱があったことはやむをえなかった。

しかし、性能はきわめて優秀で、今後その本領をいかんなく発揮することであろう。

十二月定例会議で四十二年度決算四件が認定された。その概要としては、一般会計の歳入決算は二億五千九百七十五万二千円、歳出二億五千三百二十八万一千円、差引六百四十七万一千円の黒字である。歳出決算額を性質別に見ると、トップは人件費で総額の三三%、以下、普通建設事業二七%、物件費一五%、災害復旧費七、四%等となっている。三割自治ということはあるが、普通建設事業費が町の発展策に使われるものとするれば、川西の場合、三割に満たないわけである。

また、経済成長との関係で、過去十一年間の国の経済成長率が平均一四%で三、七倍に対して川西町の歳出決算の増加率は二、五倍。全国の地方税収入が三、九倍なのに対して川西のそれはわずか一、四倍という状況で、いずれも大きい格差が見られ、過疎地帯の災難を数字の上から示された感がある。(M)

川西幼稚園・千手保育園 園児の募集要領

ことしまた、町立の川西幼稚園と千手保育園へ、それぞれ入園(保育園の場合、入所ともいいます)する児童の募集を行なう時期になりました。いずれも、児童をおあずかりする期間は四月一日から来年三月末日までで募集のあらしや手続き方法は次のとおりです。

川西幼稚園

募集の対象

一、五歳児であること(昭和三十八年四月二日から三十九年四月一日までの間に生まれたもの)。
二、対象区域は千手小学校の通学区域とします。

手続き

一、決められた入園願書に必要な事項を記入して川西町教育委員会に提出します。
二、願書の提出期限は二月十五日までです。
三、願書は役場の窓口にて用紙としてあります。

千手保育園

募集人員

一、三歳未満児 六人
二、三、四歳児あわせて五十四人

募集の対象

一、保護者の就労や病気の理由で保育に欠ける児童。
二、手続き

一、申請書に必要な事項を記入して、今年十七日から三十日までの間に申し込みます。
二、申請書用紙の備え付け場所

および受付場所は、ともに社会課です。
八、申し込みの際は印形を忘れないでください。
九、添付書類
一〇、父母の勤務証明書(勤務先発行のもの)
一一、昭和四十三年分給与所得の源泉徴収票
一二、母の内職証明書
一三、家族の病気が理由の場合には医師の診断書

その他

一、申請書提出時に、係からいろいろおたずねすることがありますから、申し込みには必ず家族のかたがおいでください。現在在園中で、継続して入所を希望する場合でも、忘れずに申請してください。

保母試験のお知らせ

二月二十日から二十三日までの四日間、新潟県の保母試験が行われます。願書の受け付けは二月五日までですが、受験を希望されるかたは、細部について、社会課でおたずねください。



サンタのおじさんに 保育園のよい子は大喜び

クリスマスイブを迎えた日、おりよく雪の降るのを見ながら、うさぎのオヤジは、うん、これでやっとなんたのおじさんがソリでやってくるのができるぞ、なあ、ボウズ。といっぺは喜んでた。
なのに、あけて二十五日、サンタクロースは真新しいセダンに乗って、玄関から堂々とやってきたしかも三人もだ。でも、保育園のなかまは大せいいるから、サンタのおじさんもひとりよりは、おみやげをもらうのに手間が省けていいや。おや？、先生におみやげはないのかな。
(写真) 十二月二十五日、商工会千手支部のかたがたのクリスマス仲間を千手保育園で撮影。

議会の動き 12月

二日 食糧制度堅持新潟県大会に中村産経委員長が出席。

十七日 十日町警察署仁田駐在所落成式に小林総文副委員長出席

二十日、二十一日の両日にわたり陳情のため町長、議長が上京。

二十三日、二十四日の両日、第七回定例会をひらく。

△審議内容▽

① 昭和四十二年度川西町一般会計 ② 同国保(事業勘定)特別会計 ③ 同国保(施設勘定)特別会計 ④ 同農業共済事業特別会計、以上四件の各歳入歳出決算をそれぞれ認定。

⑤ 川西町職員の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正を、原案どおり可決。

⑥ 職員の日、休暇に関する条例の一部改正を原案どおり可決。

⑦ 一般職の職員の給与条例一部改正を原案どおり可決。

⑧ 税条例の一部改正を原案どおり可決。

⑨ 県町村人等事務組合を組織する地方公共団体の増減と規約変更について、原案どおり可決。

⑩ 県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の増減と規約変更を、原案どおり可決。

⑪ 赤谷、月沢線ほか五本の町道廃止について原案どおり可決。

⑫ 沖島開田に関する助成請願、ほか十件の請願をそれぞれ関係の常任委員会に付託して継続審査とする。

なお、以上の審議に先立って高橋勉八郎、中村金作、田中三郎の三議員から一般質問がある。

一級・準用河川 慣行による水利権の 届けを忘れずに

管理者の許可以外の権限、たとえば慣行などによって一級河川や準用河川の流水を占有している人は、河川法の規定によって、河川管理者に必要事項を届け出なければなりません。

この届け出の行為は、昨年中に完了していなければならぬのですが、また未届けの箇所が各地にみられ、支障をきたしていますから、一件もみだり土不誤り、早めにお届けください。



「明」めましておさいます。企画室の発足と同時に広報を担当して一年と少々、

て、一月はシベリヤ大陸風の吹き出しは強くなり、ことしも、まるで当然といわんばかりに吹雪、大雪の日が相次いで、無雪道路の一種線、二種線計画は、たちまち消し飛んでしまいました。この季節節風をもたらす大陸の高気圧の勢力は、普通七日前後の周期で盛衰をくり返すそうです大雪やなだれによる災害の防止を念頭において、きびしい冬を、愚直で切り抜けることを祈るはかりです。

血圧のかたには寒さが大敵です。とくに、急に冷たい空気にふれることは禁物で、夜中に、便所に起きるときは、必ず、はいてんなどを着るようにしてください。暮らしには、細心と暖かい思いやりが必要です。(Z)

「高」

世帯平均(年額)一万二千元に

一月分から国保の保険料を値上げ

国保事業の運営、なかでも保険料の納入にあたって、みなさんのご協力にはいつも感謝いたしておりますが、この保険料の算定で、ひとつの基準となっている過去の医療費給付状況の推移と、本年度

の傾向に著しい差違がみられます。そのため、町としてはここきて算定のしな

おし、値上げをしなければならぬ状況となりまして、そのあらましをお伝えして、ご理解をお願いいたします。

医療費の伸び 県平均を上回る

国保給付費(医療費)の増加しているのは全国的な傾向のようですが、川西町の場合、今年度上半期の運営状況では、昨年同上半期に較べて医療費の伸びが二七・六%ありませんが、四十二年、四十二年

比べるまでもなく、当初の見込みを大幅に上回っている現状です。そのうえ、左の図をごらんになるとわかるように、保険料の本算定にあたっては、例年の状況(曲線)も参考にしているのですが、ここでも、本年に限って本算定(九月)後、また十月の状況でしか

年とは違ったカーブをみせはじめ

ております。

まったく予知できないのが医療費とはいいながら、このまま現行の保険料(世帯平均一万一千三百円です)でゆくと、給付費に不足を生ずることは明らかです。

新しい料率

()内は変更前

- ・所得割 所得割基準額の百分の二・九(百分の二・九五)
- ・資産割 固定資産税額の百分の十六(百分の十五)
- ・被保険者均等割 一人につき千七十九円(九百四十五円)
- ・世帯平均割 千九百二十八円(千六百九十五円)

成人式は 八月十五日と決定

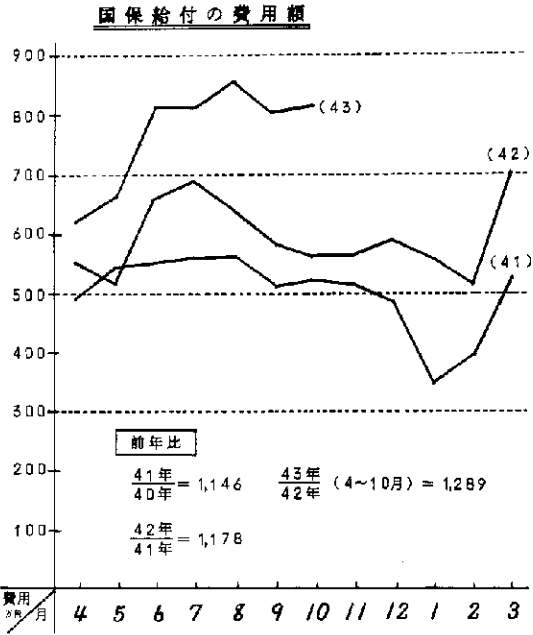
一月十五日は成人の日、川西町では合併当初の第一年度だけ、この日に成人式を行ないました。しかし、それ以後は、出かせぎの影響で参列者が少ないこと、種雪のため遠方からの参加が困難であること、以上の二点を考慮して五月三日に行なってきました。ところが、はじめのころをこ

けるまでもありません。どうかこの状況をご理解いたいて、これまで同様の保険料収納成績をあげられるよう、いっそうご協力をお願いいたします。

れといった悩みもきかれませんが、ご承知の、服装が年々はなやかになるにつれて、参加する娘さんや、あるいは家族にしてもかなり複雑な表情で、五月の式を待つという状況になりました。

たまたま昨年七月、町の婦人会の席上で、成人者の衣服に金のかかることが問題となり、町に對し、実施時期の変更を願う大会決議がなされ、米寶として出席していた横津町長も善処することを約束しておりました。

その後、十二月になって、具体的に意向をとりまとめた婦人会側が、あらためて陳情のため来庁したのを機会に、関係者が協議した結果、先月号でお知らせしたように八月実施、それも十五日に行なうことが決定したものです。



広報スケッチ

種鶏に取り組む 滋野永勝さん

現在、約三百羽いる種鶏のえさは農協から入れているが、この飼料がなかなか優秀で産卵にはきわめて効果的。一日の消費量は二袋半えきの配合で苦心したのもむかしのことになってしまった。だが、普及の余地がある種鶏にも、冬の出荷で悩みが絶えないのは宿命か。(Z)

広報スケッチも、年のはじめはエトにちなんだ話題を、というところで、養鶏家の訪談を思いたったらしい。

川西町で、代表的な養鶏家はどなただろうか。産業課でたずねてみると、即座に、新町の内山恵雄さん、野口の滋野永勝さん、このおふたりの名があがったが規模で内山さん、種鶏という立場では滋野さんの所がおもしろいという。

すれの多収産にもわたりが

結局、野口の方へおじゃますることに。種鶏に対する、わたしの珍しいという気持ちこそうさせた程度の理由でしかなく、専門の農林系にも、生のままの鶏ふんを施

民生委員を改選

むこう三か年の任期

昭和四十二年十二月一日付で全国いっせいに民生委員の改選が行なわれました。

川西町では、これまでより二人の定員増があつて、あつたに二十五人のかたがあつたが、こんご三年間社会福祉関係でみなさんの相談相手として活躍くださることになりました。

なお、これらのかたがたは児童委員を兼任いたします。

新しい民生委員の氏名は次のとおりですが、カッコ内は再任、新任の別、その下の部落(町内)名は担当区域です。

- 須藤寛蔵(再) 下原、根深、原田
- 滋野貞良(再) 野門、四十歩
- 田中利八(再) 仁田、塩幸
- 日口忠三(再) 木落、寺ヶ崎
- 南雲源次(再) 中仁田
- 高野寅五郎(再) 室島
- 齊次利栄(新) 小脇
- 高橋茂夫(再) 高倉、霧谷
- 茂野寅一(再) 藤沢
- 高橋三代治(再) 田戸、越ヶ沢
- 小川角治(再) 赤谷
- 小川富治(再) 岩瀬、大倉
- 岡島盛治(再) 大白倉
- 田中林平(再) 小白倉
- 富井源蔵(再) 上野、下平新田
- 渡邊栄一(再) 新町新田
- 押不喜策(再) 元町、星名新田
- 高橋久蔵(再) 三領、小根岸
- 渡辺理平(再) 中島町、下平、山
- 野田、発電所通り、四郎兼

大溪館子(新) 東善寺、上町、神社町

小海大成(再) 田中町、寺尾、中
夫町、中屋敷
南雲 貞(新) 木島、学校町
数藤興治郎(再) 沖立
村山義雄(再) 伊友、高栗田
中村由蔵(再) 坪山、平見、霜条
鶴吉

今回の改選で目だつのは、新任三人のうち二人は婦人委員であるということですが、これまで三期九年間、ただひとりの婦人委員として功績のあつた丸山タイさんは退任いたしました。この欄を借りて、長年のご尽力に対してお礼を申あげます。

囑託員さま

- (千手地区)
- 中島町、羽部 武 ○山野田
- 清水守平 ○発電所通り、田中軍平
- 下平、田中藤吉 ○四郎兼、喜
- 多村林作 ○東善寺、柳亭一
- 上町、大溪一雄 ○中央町、南
- 雲田鶴 ○田中町、南雲一男 ○
- 学校町、関口盛雄 ○神社町、田
- 辺徳松 ○中屋敷、清水喜久市
- 寺尾、清水順作 ○木島、上村
- 久平 ○沖立、数藤孝平 ○高原
- 田、丸山慶蔵 ○伊友、高橋友義
- 坪山、高橋義夫 ○平見、古川
- 基 ○霜条、歳品茂雄 ○鶴吉、

母子保健推進員を依頼

町では、十二月から各地域にあわせて二十五人の母子保健推進員

戸籍の窓から

- たかさご一丁目満に
- 新婦 相馬 紀義 木落
- 新婦 滋野 克子 野口から
- 新婦 中村 健二 坪山
- 新婦 村上 幸江 青森県から
- 新婦 藤巻 建一 発電所通り
- 新婦 村上 和美 十口町から
- 新婦 上村 力夫 下平新田
- 新婦 牧野 芳江 静岡県から
- 新婦 齋木 武明 高倉
- 新婦 名地 勝代 津南町から
- 新婦 本山 誠 四十歩
- 新婦 高野 春江 佐渡郡から
- 新婦 高橋 進 坪山
- 新婦 和田トシ子 仁田から
- 新婦 小幡 俊彦 仁田
- 新婦 藤田 セツ 西浦原から

を依頼し、母子保健事業を効果的に実施してゆくことになりました。推進員のみなさんからは、①母性や乳幼児保健に關する問題点のはあく。②医師や助産師の判定をうけないで妊娠届を提出した妊婦に対して、医師、または助産師による診察をうけるように勧める。③町で実施する妊産婦、乳幼児の保健指導や健康診査をうけるように勧める。④母子栄養食品の支給対象世帯に、その申請手続きを勧める。などの活動を行なうていただきます。

この推進員を引き受けてくださったのは次のかたがたで、依頼期間は四十五年三月までです。

- 新婦 中島 徳榮 上野
- 新婦 桑野 トヨ 仁田から
- 新婦 村越 家野 野口
- 新婦 田中チイ子 仁田から
- 新婦 岡島 祐治 大白倉
- 新婦 中條ちづ子 赤谷から
- 新婦 茂野 國正 中屋敷から
- 新婦 茂野 恵美子 中屋敷から
- 新婦 中條 政義 大倉
- 新婦 吉奥由美子 中里村から
- 新婦 星名 武夫 伊友
- 新婦 中河 一美 奈川県から
- 新婦 高橋 行雄 室島
- 新婦 南雲 直枝 長野県から
- 新婦 戸田 修平 仁田
- 新婦 石崎 悦子 夜城県から

- * 田中スミ(発電所通り)
- * 高橋スミ(田中町) * 小海ふさ(寺尾) * 数藤タツ(沖立)
- * 高橋美枝(伊友) * 高橋さち(坪山) * 富井タキ(上野)
- * 清水リノ(下平新田) * 小海敏江(小根岸) * 内山ナカ(新町新田) * 押木タケノ(元町)
- * 田口トウ(木落) * 大久保ミホ(野口) * 大平きみ(原庄)
- * 水落菊江(仁田) * 丸山美代喜(下原) * 金子ヒサ(岩瀬)
- * 金子 利(再) * 茂野チトセ(藤沢) * 南雲春江(中仙田)
- * 押木立能(再) * 藤田タヨ(田戸) * 半田利登(室島)
- * 高橋マユ(高倉) * 桐生千代

- 新婦 須藤 雅子 博英 二女 下原
- 新婦 平野みゆき 啓介 長女 東善寺
- 新婦 根津 信子 榮吉 長女 原田
- 新婦 小川 玲子 湯助 二女 越ヶ沢
- 新婦 和久井幸江 音作 長女 木落
- 新婦 増田 勝 博史 長男 室島
- 新婦 相崎由美子 貞雄 三女 沖立
- 新婦 山口 晃 要 長男 仁田

(大倉倉) 以上二十五人。

昭和四十四年
交通安全年間スローガン
運転車向け)
急停車されてもよい距離
よい速度

(歩行者向け)
親がまず手本を示そう
正しい横断

(子ども向け)
みんな歩いているときも
一人一人がよくちゆうい

(一般向け)
世界の願い
交通安全

かわにし
俳壇
大田白南風選

在和歌山 金子洋石
○書初や百姓に生く食しき聲
除夜の鐘心母かに聞きすます
松風 南雲文峯

○雪圍して庭先の広く見ゆ
薄れ目を背中に受けて布圍す
暖冬の町とんよりと突立つ

上野 富井貞生
山茶花の咲きあり曲してありし
大枝を引き絞つつ雪圍い
湯壺まで山霧濃ほき石の段
山の湯に売店ありしなめと売る
発電所通り 小川越人
雪山を叩ち恵方合掌す
雪下ろしことしの仕事始めなる
屋根の雪おろす木すきを買初